

令和4年度第2回理学療法講習部部会議事録

参加者：藤・成田・森・山内・石橋・落合・菅野 欠席者：山本 書記：藤

日時：2022年6月20日 19:00～ 場所：zoom meeting（オンライン会議）

議題

1) 7月拡大理事会、デジタル業務事業支援部会議の出席について

- ・上記に部長が他業務により出席困難なため代理出席を特定部員へ依頼。

2) 7月開催の理学療法士講習会について

- ・現状としては以前 LINEWORKS に挙げた通り、協会の連絡不備もあり、決定通知が出るまでに時間を要したことで6/3より協会マイページへのセミナー登録を行い、同日より募集受付とした。
- ・本来有料開催を予定していたが、楽天カードでの引き落としとすると更に募集期間が短くなるため、急遽無料開催とした。6/10時点で300名の定員が満員となった。
- ・募集人数を300名→500名へ増員することを提案し、了解が得られた。
- ・講習会の準備として、これまでZoomウェビナーにて開催してきたが、講師からの印象は良くなかった。そのため、ミーティングでの開催を提案した。
- ・先日のZoom爆撃を心配する声も挙がったが、理事会での方針を理事より説明していただき、留意しながらミーティングにて行う方向となった。

3) 次年度の理学療法講習部独自企画の講習会について

- ・嚙下・リハ栄養については、当初より候補に挙がっていた京都先端科学大学の南都先生と東京医療学院大学の内田先生に依頼することとなった。時期は11月初旬～中旬頃で提案し調整予定。
- ・脳卒中リハについては、甲南女子大学の金居先生は再発予防やモバイルヘルス以外においても、幅広く講義していただける可能性があること、西大和病院の生野先生より電気刺激等の内容を話していただくこととの組み合わせを考慮し両名に依頼することとなった。時期は1月中～下旬ごろで提案し調整予定。
- ・残り1本のテーマについては、切断・義足が候補として挙がった。切断・義肢に限らず「義肢装具最前線」として、装具や車いす等も交えて広く検討することとなった。部員各自で情報収集を行う。2-3月頃の開催を目標に進める。

4) 新人対象講習会について

- ・中枢については、以前から候補に挙がっていた伊丹恒生病院の久保先生に加え、脳卒中リハで候補に挙がった甲南女子大学の野添先生が新たに候補として挙がり、新人教育の観点から野添先生に依頼することとなった。伊丹恒生病院との繋がりもあることから久保先生も講師に交えてもらうことも提案する方向となった。
- ・運動器については、認定・専門保有や兵庫県下での症例数等の観点から元々候補に挙がっていたあんしんクリニックに依頼することとなった。
- ・内容としては各々、特別な手技ではなく基本的な手技（触診など）や正しい評価法を主体としたものを提案する。
- ・実技講習のため、研修部作成の実技講習における感染マニュアルに準じて準備を進めてもらう。

- ・委託契約書、業務計画書、業務報告書のひな型を部長より提示、理事から委託契約書は理事会を通す前に事務局・弁護士の確認があったほうが望ましいとの意見が挙がった。

5) その他（理事より）

- ・壇辻先生より理学療法講習部主導で、兵庫県下の認定理学療法士認定カリキュラム教育機関を増やす仕組み作りを行ってほしいと依頼があった。
- ・特に全国でやっていない分野（健康増進・参加、褥瘡など）を県士会でカバーできるよう進めてほしいとのこと。
- ・まずは部員間で認定カリキュラム実施要項や申請要項など情報共有を図り、その方法を検討していく。

以上